



クラスだより



円町まぶね隣保園 2024.10.

残暑がやっと終りを迎えたと思っただけに、途端に朝晩と日中の気温差が激しくなりました。体調管理が難しい日が続いていましたが、季節は秋に変わっていき過ぎやすい日も増えています。心地良い風が吹く中で子どもたちは園庭や散歩へ行くことを楽しんでます。11月はどんぐりなどの木の实、黄色や赤色に染まった葉っぱなど色んな秋を見つけ楽しんでほしいと思います。

かぜぐみ



運動会ありがとうございました

子どもたちとお家の方との協同Tシャツがとてもステキでした。背中のお絵からも多くのパワーをもらって子どもたちですごく

- ・ 沢山の観客の中、笑顔あり、涙あり、大はしゃぎありの、今のかぜぐみの姿をお届けできたかと思えます。そして、大きな行事を経験して1つ大きくなった子どもたちです。又、運動会後、あそびの姿に変化があり、園庭で縄とびを出すと、今までは鉄棒に結んでブランコにしていたのですが、受け取るとすぐに走り縄とびを始めたのです。この姿には担任たちもビックリ!
- ・ たいようぐみの姿をよく見ていたことが改めて分かりました。まだまだ縄を回すことに苦戦しているところなので、走らせてはいませんが“やりたい”という気持ちで取り組むことで、これからどんどん上達していくのだと思います。柱登り(5月のクラスだよりより)と同様に、何事も“やらされる”のではなく、“やりたい”と心が重かった瞬間が、新しく何かを始めるきっかけとなり、“始めの一歩”がはまれます。

他にも、竹登りや三角馬にも興味を持ち始めているかぜぐみの子どもたちなので、あそびの中で少しずつ経験していこうと思います。

お当番活動
始めました

お当番表を作り、毎日の食事・おやつの挨拶からスタートしました。「まようはだれ？」と毎朝確認し、自分の番を楽しみにしています。朝のお集まりも定着してきたので、担任が輪に入るのが遅いと、子ども同士で名前を呼び合っていたり「かぜぐみさんおはようございます」と早々に始めたりする姿もある程やる気満々です。皆の前に立ち、大きな声を出すことは大人でも緊張します。子どもたちもドキドキしていますが、それ以上にやりきた表情を見せています。お当番活動を通して“できた”の経験を重ねながら、自信をつけていって欲しいと思います。

11月はバスに乗って双ヶ丘へ行く予定です。また次回もよろしくお願ひします

良北公園とお弁当
初めてお弁当を持って園外へといざ出発。子どもたちが楽しみにしていたのは、公園よりもお弁当で。お弁当を座り落とさないように大事に抱え、嬉しそうに頬張っていました。食べやすいサイズのおにぎりや好きなおかずを用意して下さりありがとうございました。

そらぐみ たいようぐみ

運動会楽しかったね!!

運動遊びから運動会まで、運動会に向けての活動が増えていく中で「お家の人にかっこいい姿を見てもらう」ということを楽しみにしていました。最初はどきどきして、いきなり「よーい、どーい」で飽きてしまう姿もありましたが「やりたい」とは誰も言いませんでした。保育者の誘いかけで始まっていた遊びはいつか子どもたち自身から「さんかくまやりたい!」「たいようまやりたい!」「たのびたい!」と言い、「このいい!」と言いつつ友達と一緒に乗っていました。時には真剣な表情で、どきどきでももう一回、もう一回とやっては「みてー!」とみんなに見てもらうことで自信になり、形に近づいていきました。合同競技では普段一緒に過ごすそら組、たいよう組と一緒にリレーや競技を楽しみました。ルールは公園でたくさん走って楽しんできまして、走る度に先に帰ってくるチームが羨望のまなこで「今度は!」と意気込んでいました。競技のチーム分けをしてからしばらくは事あるごとにチームに分かれて過ごしました。最初はきどちまもありませんでしたが、過剰にいくうちに「こんな人とチームが仲良くないよ!」「難しいかな?」と思っていた絵合わせも「こちやう?」「ここでも、て!」「こちやうて〜」と子ども同士で話し合いながら合わせて見せることができた。今回の運動会を通してそら組、たいよう組の関係がより深まったように感じています。

4月から何事にも話し合いを多く持つようにし、子どもたち同士のコミュニケーションを増やすことで言葉で思いを伝えられるようになり、相手の思いを聞いて違うところに気付くということも繰り返してできるようになりました。そうすることで、ぶつかり合うことが月々から子どもたちも少しずつ解決したり、「こちやう」と友達と一緒に考えて行動しています。先日、象見さんとの交流で、階が上がってくるのを待っている時に「よにやたらいっしょにあそぶや?」と自然に会話が始まり、「ボールは?」「カゴうとかつんでおやつとかは?」「えほんよむ?」と言いつつ同じ考えを持った小さなグループができていました。遊び方が分からず「いい時期もありましたか?」自分たちで考えて友だちに話し、実際にやってみる、という流れに近づいている。そら組、たいよう組の子どもたちに成長を感じています。

これからそら組はたいよう組に、たいよう組は小学生になるという思いが強くなり「もういっしょにやってみよう!」「これができるようにしたい!」と前向きな思いがどんどん出てきます。重たいのが背中で、迷いやしんどさが出てくるかもしれませんが、そんな時に助けてくれるのは、お家の方の支え、友だちや周りの大人の支えだと思えます。いつか一緒に乗り越えて、楽しいことを見つけた時は、みんなが楽しく誰かと一緒に「過剰に楽しさや喜び」を感じられるように過ごしていきたいと思います。